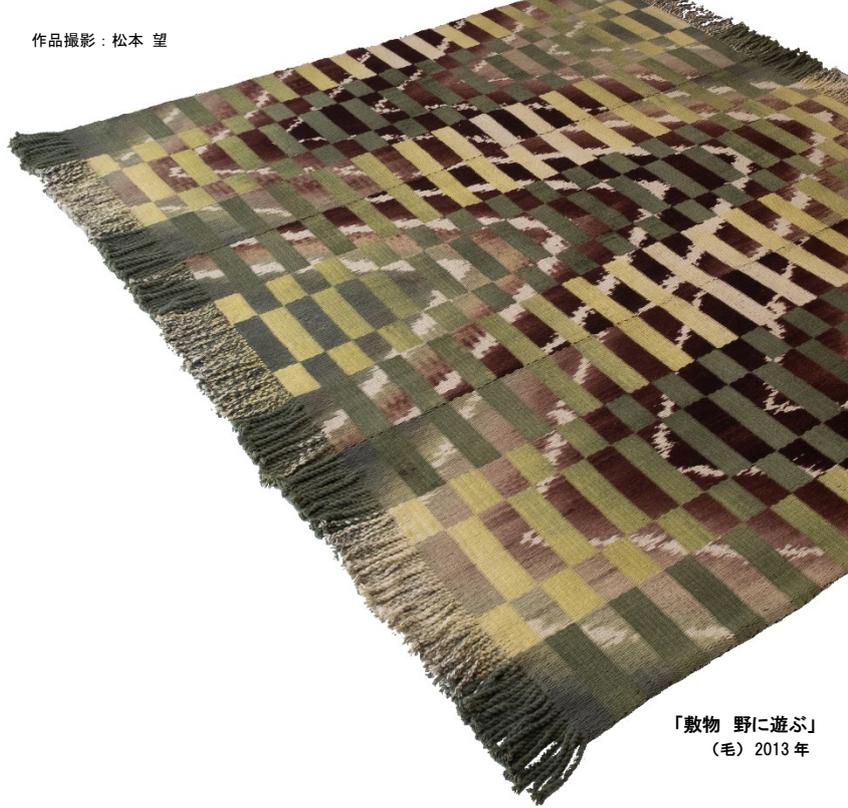




# 染と織

## 寺岡和子の世界展

作品撮影：松本 望



「敷物 野に遊ぶ」  
(毛) 2013年

### ●寺岡和子プロフィール

- 1939年 医師 石橋猛雄、日本画家 石橋静枝の三女として小樽に生まれる。
- 1961年 女子美術大学芸術学部工芸科卒業。国画会展入選。
- 1973年 小樽市美術展覧会(市展)毎日新聞社賞受賞。
- 1974年 市展委員推薦。
- 1976年 全道展入選。
- 1979・80年 全道展奨励賞受賞。
- 1979年頃 北海道女流工芸展に出品、以後毎回出品。
- 1980年 現代工芸展入選。
- 1982年 染織アトリエ Kazu 手織教室開設。
- 1983年 「陶と織四人展」開催(ブランタンギャラリー)。
- 1984年 「女流工芸一の会」を設立。
- 1985年 北海道東海大学芸術学部デザイン科非常勤講師を務める。
- 1986年 「寺岡和子 個展」開催(市立小樽美術館市民ギャラリー)。「北の染織織物展」開催(旭川西武ギャラリー)。
- 1987年 「北海道タビスリー交流展」(オーストリア)に出品。企画展「居住するものたち」(京都クラフトセンター)出品。国際小樽インテリアアカデミー非常勤講師を務める。おたる織物株式会社 染織アトリエ Kazu 設立、代表取締役社長。市立小樽美術館作品收藏。
- 1989年 北海道物産展参加開始。
- 1999年 日本伝統工芸職人展参加開始。
- 2001年 小樽職人の会加盟。
- 2003年 日本の職人展に参加開始。
- 2008年 北海道女流工芸一の会 会長就任。
- 2016年 女子美術大学同窓会札幌支部会長就任。
- 現在 グループ展、職人展、北海道物産展各地多数出展



「流れ」(絹) 2008年  
亡くなった長女を偲んで織った作品

寺岡和子は、1960年代から染と織の技術を磨き、造形美術作品として 国画会展、全道展、現代工芸展に出品します。作家活動と並行し、自らの手織教室をはじめ、北海道東海大学、国際インテリアアカデミー等で後進を指導。さらに1984年、北海道で活躍する女流工芸家の相互研鑽、工芸文化の発展、向上を目的として、「北海道女流工芸一の会」を設立しました。

西洋ではインテリアとして普及している染織工芸を、日本にも普及させようと、服飾だけでなく大作にも取り組みました。雪原や氷華をイメージした作品、深い海の色を思わせる夢幻的な作品など、「北」をテーマに織り込み、その作品は公共施設を飾っています。

創作活動だけではなく、地場産業の創出・歴史ある建造物の再利用に着目し、小樽にある明治建築の寿原小間物店の石造倉庫を利用し、手織教室とともに、染・織の衣類、小物、タペストリーなどの商品を制作販売する店舗「おたる織物(株) 染織アトリエ Kazu」を1987年に開設し、現在に至っています。歴史的建造物が立ち並ぶ小樽市堺町通りの一角に、石蔵を活用した工房・ショップの開店は反響を呼び、その後、地域の景観と古い建物を生かした体験型観光のさきがけとなりました。

本展は、小樽で優れた染織工芸を創造普及し、それらを自立したビジネスとして展開する染織工芸家 寺岡和子の代表作を、ものづくり一本木選奨「地域貢献賞」の受賞を記念して、展覧するものです。



「白と黒」(毛・スポンジ) 1986年



「北」(毛・ナイロンテープ) 1983年 市立小樽美術館蔵

